



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 6 月 10 日(木)
道の駅展示スペース調査 編

今年度予定している事業のひとつに、道の駅やパーキングエリアでのパネル展示があります。まち灯りのようなイベント開催前にポスターやパネルを設置して、より多くの方々に日頃の活動紹介とイベントPRしようというものです。8月5日開催のまち灯りに向け、どこでどのくらいの規模でできるかを現地で確認・検討するため、懇談会の翌日、GK 京都のト部さん、能代河川国道事務所の川口さん・佐藤さんと能代山本地域内にある5つの道の駅を回ってきました。

利用者数の大小と羽州街道のパネル展示スペースを活用できることを考慮して、川口さんと佐藤さんが予めピックアップして下さったのは、鷹巣・二ツ井・琴丘・峰浜の4つの道の駅です。

まず向かったのは鷹巣の道の駅。展示スペースのある国交省の情報プラザは物産館の真後ろであり目立ちません。トイレ利用者もあまり多そうではないので、大太鼓の館のエンタランスにPRポスターのみを展示させていただくことにしました。次に向かったのは1億円トイレで有名な二ツ井。平日の昼間でもトイレ利用者が多そうでしたので、展示効果はありそう！と即決定。ト部さんのご提案で、秋田スギの専用展示ボードも作製してみることにしました。

3ヶ所目は琴丘です。レストラン内でも色々なイベントポスターが展示されていましたが、たくさん貼られていると個々には目が行かず、大きな壁紙にしか見えないことを発見！情報プラザは物産館からは離れていますが、十分な展示スペースがあり専用の展示ができること、平日の昼間のトイレ利用者が多いこと、個別チラシの設置がしやすいことから、ここにも木製ボードを置いてPRすることにしました。

お昼は、美味しいラーメン屋さん探しがお趣味の川口さんセレクト。これからのネットワークの可能性や、活動レポートには書けない苦労話などで盛り上がりました。

その後、峰浜で展示スペースとパネルサイズを確認したところで、県境間近の「八森」も見てみようと思いましたが、チラシを置くスペースしかないことが判明。木製ボードを設置するのは、二ツ井・琴丘・峰浜の3箇所だけとすることにしました。

まち灯りまで、あと2ヶ月余り。あまり作製時間がありませんが、また初めての試みにチャレンジです。

文： 渡辺 千明



鷹巣の情報プラザ。建物も施設もスペースも十分なのですが、ここに気がつかない人も多いのでは・・・ということでパネル設置を断念。



二ツ井ではトイレ入り口横のスペースをお借りすることにしました。



色々なポスターが並ぶとそれぞれの差別化が難しく、見た目も美しいことが判明。



こんなところにまで！というほど多様なポスターが貼られていますが、羽州街道コーナーには十分な専用スペースがあるため一時的にお借りすることにしました。

